# 9月の農薬

No. 6 － 1

平成27年９月１日

この資料は、窓口での即対応と今月と翌月の農協在庫計画にもご利用できます。

## 水　稲

○収穫適期を逃さず適期刈取りを行い、高品質で良食味の米を作るようご指導ください。
○斑点米カメムシ類の防除は、収穫期（刈取時期）に留意して使用するようご指導ください。

## りんご

○キンモンホソガ（ギンモンハモグリガ）の防除とりんごの落果防止剤の散布時期です。
○晩生種では、９月中旬以降降雨が続く場合は更にオーソサイド水和剤800倍を散布する。
（収穫14日前まで）（すす点・すす班病）

| 散布時期 | 農薬名 | 規格 | 譲渡書 | 主な対象病害虫 | 倍数 水100ℓ当り薬量 | 10a当り散布量 | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9月上旬 | オーソサイド水和剤80 | 500g | － | 斑点落葉病（輪紋病）<br>すす点病<br>すす斑病 | 800倍 125g | 700ℓ 875g | いずれか | 混用散布する。 |
| | ストライド顆粒水和剤※1 | 333g | － | | 1,500倍 67g | 700ℓ 467g | | |
| | ドキリンフロアブル | 500mℓ 1ℓ | － | | 1,000倍 100mℓ | 700ℓ 700mℓ | | |
| | スタークル顆粒水溶剤 | 100g 250g 500g | － | シンクイムシ類<br>キンモンホソガ<br>カメムシ類 | 2,000倍 50g | 700ℓ 350g | いずれか | |
| | ダントツ水溶剤 | 125g 250g | － | | 3,000倍 33g | 700ℓ 233g | | |
| 9/上中旬 | ストッポール液剤（単用散布） | 500mℓ | － | りんご落果防止 | 1回目 1,500倍 | 500ℓ 333mℓ | 収穫開始予定日の25日～7日前。2回散布の場合は1回目散布10日程度間隔あける。 | |
| | | | | | 2回目 1,500倍 | 500ℓ 333mℓ | | |
| 9月中旬 | スカウトフロアブル | 500mℓ | ○ | ギンモンハモグリガ<br>キンモンホソガ | 2,000倍 50mℓ | 700ℓ 350mℓ | 晩生種のみに散布する。 | |
| | ロディー水和剤 | 500g | ○ | | 1,000倍 100g | 700ℓ 700g | | |
| | サムコルフロアブル10 | 200mℓ | － | | 5,000倍 20mℓ | 700ℓ 140mℓ | | |

※1：**ストライド顆粒水和剤は散布後高温に経過した場合、樹勢の弱い樹や品種（スターキング等）などの条件によって、葉裏が茶褐色を帯びたり黄変落葉が生じる事例**がありますが、通常、実用上の影響はありません。
ただし、最高気温が30℃を超える日が数日続くことが予想される場合は使用を控えてください。

## も　も

せん孔細菌病は、今の時期に菌密度を下げることが重要です。収穫後の防除を徹底しましょう。
（ICボルドー412を７～10日間隔で２回散布する）

| 散布時期 | 農薬名 | 規格 | 譲渡書 | 主な対象病害虫 | 倍数 水100ℓ当り薬量 | 10a当り散布量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9月上旬（収穫後） | スミチオン水和剤40 | 500g 1kg | － | シンクイムシ類<br>モモハモグリガ | 1,000倍 100g | 400ℓ 400g | いずれか |
| | スプラサイド水和剤 | 500g 667g | ○ | | 2,000倍 50g | 400ℓ 200g | |
| | ハイテンパワー（展着剤） | 500mℓ | － | | 10,000倍 10mℓ | 400ℓ 40mℓ | |
| | ICボルドー412 | 5kg 10kg | － | せん孔細菌病 | 30倍 3.3kg | 400ℓ 13.3kg | 収穫後7～10日間隔で、**2回**散布を徹底する。 |
| | **園地の清掃**　空袋等を処分して下さい。灰星病の被害果を集め土中深く埋没してください。 | | | | | | |

**コスカシバ対策（もも、おうとう）**
10月以降の落葉期に枝幹に散布する。**ラビキラー乳剤200倍**（50mℓ/10ℓ）

## か　き

落葉病、炭そ病の仕上げ防除をしましょう。

| 散布時期 | 農薬名 | 規格 | 譲渡書 | 主な対象病害虫 | 倍数 水100ℓ当り薬量 | 10a当り散布量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9/上旬 | ベルクート水和剤 | 100g 500g | － | （すす点病）<br>炭そ病<br>うどんこ病<br>（灰色かび病） | 1,000倍 100g | 500ℓ 500g | 収穫14日前まで |
| | アミスター10フロアブル | 500mℓ | － | | 1,000倍 100mℓ | 500ℓ 500mℓ | 収穫7日前まで |
| | フリントフロアブル25 | 500mℓ | － | | 2,000倍 50mℓ | 500ℓ 250mℓ | 収穫前日まで |

## ぶどう

収穫終了後の防除は、極力間を開けないで防除しましょう。
散布直後に降雨があった場合は追散布を実施しましょう。

| 散布時期 | | 農薬名 | 規格 | 譲渡書 | 主な対象病害虫 | 倍数 水100ℓ当り薬量 | 10a当り散布量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9月（収穫後） | デラウェア | ICボルドー66D | 5kg | － | さび病<br>べと病 | 50倍 2kg | 300ℓ 6kg | |
| | | スミチオン水和剤40 | 500g 1kg | － | フタテンヒメヨコバイ<br>コガネムシ類成虫 | 1,000倍 100g | 300ℓ 300g | |
| | | ガットサイドS | 1ℓ 5ℓ | － | コウモリガ | 1(原液)～1.5倍で主幹部に塗布、又は1.5倍液散布する。 | | |
| 9月上旬 | 欧州種 | ICボルドー48Q | 5kg | － | べと病 | 50倍 2kg | 300ℓ 6kg | 棚上散布する。 |
| 9月（収穫後） | 欧州種 | ICボルドー66D | 5kg | － | べと病<br>さび病 | 50倍 2kg | 300ℓ 6kg | |
| | | スミチオン水和剤40 | 500g 1kg | － | フタテンヒメヨコバイ<br>コガネムシ類成虫 | 1,000倍 100g | 300ℓ 300g | |

**ブドウトラカミキリ対策**
10月以降、休眠期に**ラビキラー乳剤200～300倍**を母枝・古つるを中心に十分散布する。
（但し、ガットサイドSを使用した場合は散布しない。）

## 西洋なし

輪紋病は８月以降も降雨が続く場合、９月上旬頃まで感染しますので、散布間隔を開けずていねいに防除しましょう。

| 散布時期 | 農薬名 | 規格 | 譲渡書 | 主な対象病害虫 | 倍数 水100ℓ当り薬量 | 10a当り散布量 | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9月上旬 | アミスター10フロアブル | 500mℓ | － | 輪紋病 | 1,000倍 100mℓ | 600ℓ 600mℓ | いずれか | 混用散布する。 |
| | オキシンドー水和剤80 | 500g 835g | － | | 1,200倍 83g | 600ℓ 500g | | |
| | ストロビードライフロアブル | 250g 500g | － | | 2,000倍 50g | 600ℓ 300g | | |
| | スカウトフロアブル | 500mℓ | ○ | シンクイムシ類<br>アブラムシ類 | 2,000倍 50mℓ | 600ℓ 300mℓ | いずれか | |
| | スタークル顆粒水溶剤 | 100g 250g 500g | － | カメムシ類<br>シンクイムシ類 | 2,000倍 50g | 600ℓ 300g | | |
| | ダーズバンDF | 167g | ○ | シンクイムシ類<br>ハマキムシ類 | 3,000倍 33g | 600ℓ 200g | 単用散布。収穫21日前なので注意する | |
| 9月中下旬 | オキシンドー水和剤80 | 500g 835g | － | 輪紋病（胴枯病） | 1,200倍 83g | 600ℓ 500g | いずれか | |
| | トップジンM水和剤 | 250g 500g | － | | 1,500倍 67g | 600ℓ 400g | | |
| | サムコルフロアブル10 | 200mℓ | － | シンクイムシ類<br>ケムシ類 | 5,000倍 20mℓ | 600ℓ 120mℓ | 収穫前日まで | |
| | ハイテンパワー（展着剤） | 500mℓ | － | － | 10,000倍 10mℓ | 600ℓ 60mℓ | | |

※ストロビードライフロアブルはおうとうには薬害の恐れがあるので飛散しないよう注意する。
※アミスター10フロアブルは、りんごの「あかね等」に薬害が出るので絶対飛散しないようにする。

## 果樹の除草剤

ザクサ液剤の秋期散布（11月中旬）は翌春の雑草発生を長く抑えます。

| 散布時期 | 農薬名 | 規格 | 譲渡書 | 10a当り使用量 | 効果発現 | 持続期間 | 対象雑草 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 秋期 | ザクサ液剤 | 500mℓ 5ℓ 20ℓ | － | 300～1,000mℓ<br>水量 100～150ℓ | 3～5日 | 30～35日 | 一年生雑草<br>多年生雑草 |

・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。
・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。


もっと近くに。
ＪＡ全農山形

全農山形県本部　生産資材部
電話番号　０２３－６３４－８１５７
FAX番号　０２３－６３４－８１８２


農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

# 9月の農薬

No. 6 － 2

平成27年９月１日

この資料は、窓口での即対応と今月と翌月の農協在庫計画にもご利用できます。

## キャベツ・はくさい

○アブラナ科野菜は、コナガの他、アオムシ、ヨトウムシが好んで加害するので、同時防除剤を上手に活用しましょう。
○各害虫共に、発生初期（若令幼虫）の時期に早めに防除しましょう。

### (1) コナガ対策

| 分類 | 薬剤名 | 規格 | 譲渡書 | 主な対象害虫 | 倍数 水100ℓ当り薬量 | 10a当り散布量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | **ジェイエース水溶剤** | 100g<br>500g | － | (コナガ)、アオムシ、(ヨトウムシ)、アブラムシ類他 | 1,500倍<br>67g | 200ℓ<br>133g | A：有機リン系薬剤<br>※ジェイエースはオルトランと同成分の薬剤で、製剤も水溶剤で汚れが少ないのが特長。 |
| | マラソン乳剤 | 500mℓ | － | | 1,000倍<br>100mℓ | 200ℓ<br>200mℓ | |
| B | **コテツフロアブル** | 100mℓ<br>250mℓ | ○ | コナガ、アオムシ | 2,000倍<br>50mℓ | 200ℓ<br>100mℓ | B：呼吸系阻害剤<br>蚕毒・魚毒が強いので、注意する。 |
| C | **トアローフロアブルCT** | 500mℓ | － | コナガ、アオムシ | 1,000倍<br>100mℓ | 200ℓ<br>200mℓ | C：B・T剤（トアローは死菌剤）<br>生菌剤として、エスマルク、ゼンターリなどがある。 |
| D | パダンSG水溶剤 | 100g<br>500g | ○ | コナガ、アオムシ | 1,500倍<br>67g | 200ℓ<br>133g | D：ネライストキシン系薬剤<br>蚕毒・魚毒が強いので注意する。粉剤も登録あり。 |
| E | カスケード乳剤 | 250mℓ | － | アオムシ、コナガ、ヨトウムシ他 | 4,000倍<br>25mℓ | 200ℓ<br>50mℓ | E：IGR剤<br>蚕毒が強いので注意する。<br>キチン合成阻害作用なので遅効性である。 |
| | ノーモルト乳剤 | 100mℓ<br>500mℓ | － | | 2,000倍<br>50mℓ | 200ℓ<br>100mℓ | |
| F | マブリック水和剤20 | 250g<br>500g | ○ | アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類他 | 2,000倍<br>50g | 200ℓ<br>100g | F：合成ピレスロイド剤<br>蚕毒・魚毒が強いので注意する。 |
| | **アディオン乳剤** | 100mℓ<br>500mℓ | － | | 2,000倍<br>50mℓ | 200ℓ<br>100mℓ | |
| G | **アファーム乳剤** | 100mℓ | － | アオムシ、コナガ、(オオタバコガ) | 2,000倍<br>50mℓ | 200ℓ<br>100mℓ | G：マクロライド系薬剤<br>抵抗性が発達しやすいので、年１回の使用とする。 |
| | アニキ乳剤 | | | | | | |
| H | ランネート45DF | 100g<br>500g | ○ | アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類他 | 1,000倍<br>100g | 200ℓ<br>200g | H：カーバメート剤<br>眼に対して刺激があるので、必ずメガネ、マスクを着用し散布する。 |
| I | **スピノエース顆粒水和剤** | 100g | － | コナガ、アオムシ | 5,000倍<br>20g | 200ℓ<br>40g | I：スピノシン系薬剤<br>蚕毒が強いので注意する。 |
| | ディアナSC | 100mℓ | － | | 5,000倍<br>20mℓ | 200ℓ<br>40mℓ | |
| J | トルネードエースDF | 250g<br>500g | － | コナガ、アオムシ、ヨトウムシ | 2,000倍<br>50g | 200ℓ<br>100g | J：オキサダイアジン系薬剤<br>蚕毒が強いので注意する。 |
| K | **プレオフロアブル** | 100mℓ<br>500mℓ | － | | 1,000倍<br>100mℓ | 200ℓ<br>200mℓ | K：新しいタイプの殺虫剤<br>天敵、有用昆虫に対し影響が少ない。残効性に優れる。 |
| L | **フェニックス顆粒水和剤** | 100g<br>250g | － | コナガ、アオムシ、ヨトウムシ他 | 2,000倍<br>50g | 200ℓ<br>100g | L：ジアミド系薬剤<br>天敵、有用昆虫に対し影響が少ない。残効性に優れる。 |
| | プレバソンフロアブル5 | 250mℓ | － | | 2,000倍<br>50mℓ | 200ℓ<br>100mℓ | |
| | ベネビアOD | 250mℓ<br>500mℓ | － | | | | |

※１　各薬剤をローテーションで使用すること。
※２　コテツフロアブルおよびアファーム乳剤、アニキ乳剤は年１回の使用とし、コテツフロアブルは幼苗期（１～３葉期）は薬害が出る恐れがあるので使用しない。
※３　コナガは、抵抗性が発達しているところが多いので、被害が出ない程度まで抑えることが重要です。

### (2) 軟腐病対策（作物登録のある薬剤を選んでご使用ください）

軟腐病はキスジノミハムシなどの害虫の加害を受けた傷口から病原菌が侵入するので、害虫の防除を徹底することが重要です。
また、台風など（強風）により受けた傷口からも感染する場合もあるので、被害があった場合はただちに殺菌剤を散布しましょう。

| 分類 | 薬剤名 | 規格 | 譲渡書 | 対象病害 | 倍数 水100ℓ当り薬量 | 10a当り散布量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | カスミンボルドー | 100g<br>500g | － | 軟腐病 | 1,000倍<br>100g | 200ℓ<br>200g | A：抗性物質・銅剤<br>予防効果と治療効果を併せ持つ剤である。※キャベツで適用あり |
| B | スターナ水和剤 | 100g<br>500g | － | 軟腐病 | 1,000倍<br>100g | 200ℓ<br>200g | B：オキソリニック酸<br>予防効果のみである。　※キャベツ、はくさいで適用あり |
| C | バリダシン液剤5 | 500mℓ | － | 軟腐病 | 800倍<br>125mℓ | 200ℓ<br>250mℓ | C：抗生物質（バリダマイシン）　※キャベツ、はくさいで適用あり<br>治療効果もある。　はくさいは500倍登録 |

※１　A・B系統の薬剤を中心に使用し、予防防除を行うことが重要です。本病害は、バクテリア（細菌）性の病害なので、他病害防除も兼ねて、銅剤を中心に使用し防除します。尚、治療効果のある薬剤は少ない現状にあります。
※２　べと病と症状が似ているので、見分ける場合は、病斑部分の臭いを調べる（強い腐臭がある場合は、軟腐病と思われます）。
※３　キスジノミハムシ防除剤として、スタークル顆粒水溶剤（2,000倍、収穫３日前：はくさい）、エルサン乳剤（1,000～2,000倍、収穫14日前：キャベツ、収穫21日前：はくさい）などがある。

### (3) べと病対策（作物登録のある薬剤を選んでご使用ください）

| 分類 | 薬剤名 | 規格 | 譲渡書 | 対象病害 | 倍数 水100ℓ当り薬量 | 10a当り散布量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | **ダコニール1000** | 250mℓ<br>500mℓ | － | べと病 | 1,000倍<br>100mℓ | 200ℓ<br>200mℓ | A：有機塩素系薬剤<br>予防効果のみである。※キャベツ、はくさいで適用あり |
| B | ペンコゼブ水和剤 | 500g | － | べと病 | 600倍<br>167g | 200ℓ<br>333g | B：有機硫黄系薬剤<br>予防効果のみである。※キャベツ、はくさいで適用あり |
| C | アミスター20フロアブル | 250mℓ | － | べと病 | 2,000倍<br>50mℓ | 200ℓ<br>100mℓ | C：ストロビルリン系薬剤<br>予防・治療両効果を併せ持つ。※はくさいのみ適用あり |
| D | ホライズンドライフロアブル | 200g | － | べと病 | 2,500倍<br>40g | 200ℓ<br>80g | D：ファモキサゾン＋シモキサニル剤<br>予防・治療効果を併せ持つ剤である。※はくさいのみ適用あり |
| E | プロポーズ顆粒水和剤 | 100g<br>500g | － | べと病 | 1,000倍<br>100g | 200ℓ<br>200g | E：ダコニール＋ベンチアバリカルブ剤　※キャベツ、はくさいで適用あり<br>予防・治療効果を併せ持つ剤である。JAのみの取扱商品になります。 |

※１　A・B系統の薬剤を中心に使用し、予防防除を行うことが重要です。発病した場合はただちにC系統の薬剤を散布する。また、本病害は雨等の水分により、感染率が高まるので降雨があった場合、直後に防除すると効果的です。
※２　病斑は軟腐病と似ていますが、腐臭が少ないのが特徴です。

### (4) ナメクジ類（ウスカワマイマイ等を含む）の対策

A　作物の生育初期で葉が繁茂する前は**スラゴ粒剤**を**１～５ｇ／平方m**の割合で配置する。（野菜畑・庭等で使用可）
B　生育期中～後期は葉が繁茂するので、**液剤タイプ**の散布剤**マイキラーを200倍**を散布する。（畑作物栽培ほ場周辺および、花卉栽培はハウス内で使用可）
C　キャベツではナメクリーン３を３ｇ／平方m散布する（収穫14日前まで）。

**※１　発生初期に処理すると効果的です。**
**※２　降雨に合うと流亡**するので、天候を見はからって処理すること。
**※３　ナメクジ類及びウスカワマイマイ類は、湿度が高い夜間に食害する**ので、**夕方の処理**が効果的です。